

「カンー d e n c h i ファンド」を通じた愛知県春日井市における蓄電所事業への参画

2026年8月5日
関西電力株式会社

当社は、株式会社きんでんおよび株式会社三菱UFJ銀行の子会社である株式会社MUF Gサステナブルエナジーとともに、蓄電所を投資対象とする「カンー d e n c h i ファンド」（以下、本ファンド）を運用しています。

[[2026年6月16日](#) お知らせ済み]

このたび、本ファンドの第1号案件として、愛知県春日井市で開発を進める「春日井蓄電所」（定格出力3.9万kW、定格容量8.1万kWh）の組み入れを決定しました。

本案件では、当社と春日井蓄電所合同会社がオフテイク契約※を締結のうえ、本ファンドが出資するカンー d e n c h i 合同会社が春日井蓄電所合同会社を通じて蓄電所を開発し、2028年4月の商業運転開始を目指します。

近年、天候等の影響で発電量が変動する太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入拡大に伴い、再生可能エネルギーの出力抑制が増加しています。電力の余剰時には充電し、不足時には放電することのできる蓄電所は、再生可能エネルギーの導入拡大や電力需給の安定化に貢献します。

当社は、2030年代の早期に約100万kWの蓄電所開発を目指しています。今後も、グループの総合力を活かし、本ファンドを通じて蓄電所事業の拡大を進め、ゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

※：当社が事業用合同会社（事業用SPC）に対して蓄電所運営の対価として固定料金を支払う契約。

以 上

別紙1：春日井蓄電所の概要

別紙2：カンー d e n c h i ファンドの概要

春日井蓄電所の概要

名称	春日井蓄電所
運営	春日井蓄電所合同会社
設置場所	愛知県春日井市内津町
敷地面積	約 7,500 m ²
定格出力	3.9 万 kW
定格容量	8.1 万 kWh
商業運転開始	2028 年 4 月（予定）
出資者	カンー d e n c h i 合同会社

＜春日井蓄電所イメージ＞

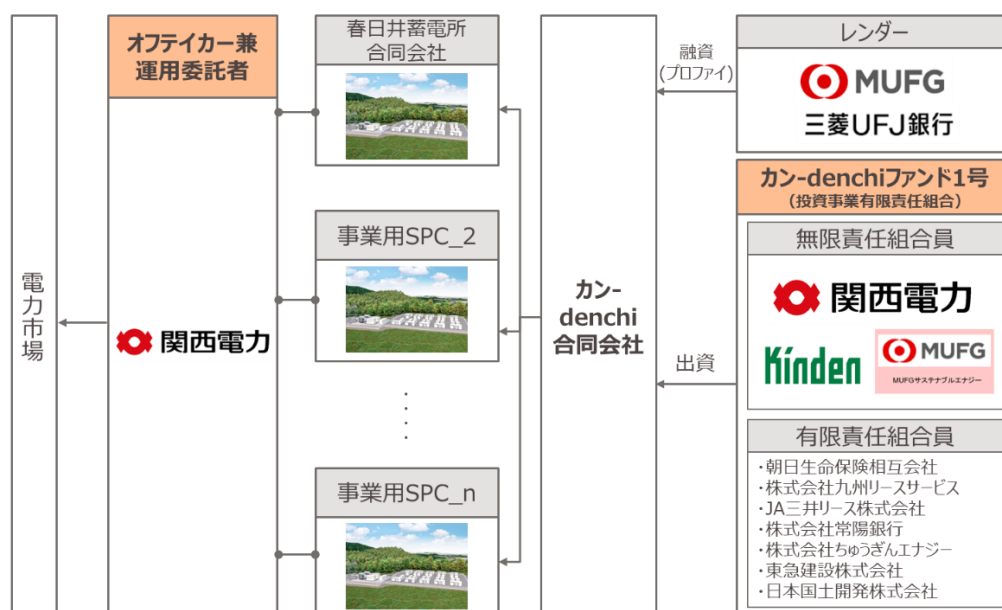
＜ kan-denchi サービス＞

関西電力が提供する蓄電所事業向けワンストップソリューションサービス  から、「電池診断・運用支援サービス」と「電力市場運用サービス」を導入します。サービスの詳細は、[サービスサイト](#)をご覧ください。

カン-denchi ファンドの概要

ファンド名	カン-denchi ファンド 1号投資事業有限責任組合
設立年月日	2026年3月31日
投資対象	特別高圧の蓄電所（匿名組合出資持分を保有）
出資者 （無限責任組合員）	カン-denchi ファンド合同会社（関西電力出資） きんでん蓄電池ファンド合同会社（きんでん出資） 株式会社MUFGサステナブルエナジー（三菱UFJ銀行出資）
出資者 （有限責任組合員）	朝日生命保険相互会社、株式会社九州リースサービス、 JA三井リース株式会社、株式会社常陽銀行、 株式会社ちゅうぎんエナジー、東急建設株式会社、 日本国土開発株式会社（五十音順）
ファンド規模	65億円
存続期間	26年
ファイナンシャル アドバイザー（FA） 兼 私募取扱業者	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

◆スキーム図



◆スキームの運営体制

役割	社名
本ファンドの アセットマネジメント業務	関電アセットマネジメント株式会社
カン-denchi 合同会社の アセットマネジメント業務	関電アセットマネジメント株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
事業用SPCの アセットマネジメント業務	株式会社グリーンインフラ・デベロップメント